



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 M-PMO

コード番号 3251 URL <http://www.pmo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 柳瀬 聡

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長

(氏名) 加藤 隆行

TEL 03-3406-2477

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,074	—	9	—	7	—	1	—
23年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 0百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	14.48	14.12
23年3月期第1四半期	—	—

※前第2四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,645	—	664	—	—	38.7
23年3月期	1,672	—	677	—	—	38.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 637百万円 23年3月期 649百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	0.00	—	200.00	200.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	0.00	200.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,106	10.4	72	17.0	68	2.5	37	7.9	520.05
通期	4,680	20.7	161	77.0	152	55.2	83	76.6	1,155.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	80,160 株	23年3月期	80,160 株
24年3月期1Q	7,490 株	23年3月期	7,490 株
24年3月期1Q	72,670 株	23年3月期1Q	72,670 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想、将来に関する記述等は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいることから、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	4
4. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響による経済活動の停滞や福島原発事故による夏場の電力不足問題等の不安化が懸念され、景気の先行きは不透明な状況となっております。

日本における駐車場業界におきましては、震災後の一時的なガソリン不足や計画停電の実施、更には消費低迷に伴う交通量の減少により、駐車場需要が大幅に低下し、その後、回復基調にあるものの震災前の水準には至らず、依然として厳しい経営環境が続いております。

中国における駐車場業界におきましては、経済発展に伴う新車販売台数の増加、車利用率の継続的増加により、主要都市については多くの駐車場建設計画が進んでおり、駐車場需要は拡大の一途を辿っております。

このような環境の中、当社グループでは引き続き、新規駐車場の獲得に注力するため、海外(中国)及び関西エリアにおける営業人員の拡充、ビジネス領域の拡大や他社との差別化を目的とした駐車場省エネビジネスの展開、自転車駐輪場の受注獲得に向けた積極的な事業活動を実施してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,074,276千円、営業利益は9,875千円、経常利益は7,898千円、四半期純利益は1,052千円となりました。

なお、前連結会計年度の第2四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前第1四半期連結累計期間との比較については記載しておりません。

セグメントの業績につきましては、当社グループは駐車場事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

これに代わる事業部門別の業績の概況は以下のとおりです。

#### 〔駐車場管理運営事業〕

駐車場管理運営事業の国内におきましては、震災の影響に伴い、駐車場所有者の災害時対応懸念から、駐車場所有者による直営から駐車場専門業社へのアウトソーシング化の流れが強まったことにより、駐車場管理運営業務のニーズが高まっております。

この状況を受け、関西エリアにおける営業人員を拡充する等、社内体制を強化し、新規顧客先に加え、既存オーナー様への積極提案や営業活動を展開した結果、当第1四半期連結累計期間において、6現場691車室の新規現場の獲得、また、第2四半期連結会計期間以降にオープンする現場についても多数の内定を頂く結果となりました。

然しながら、震災に伴う消費の自粛ムードの影響により、広告宣伝活動を控えたことにより、新規現場の認知度を十分に高めることが出来ず、本年3月以降にオープンした駐車場は利益に寄与することが困難な結果となりました。

また、既存現場についても、震災後の一時的なガソリン不足や計画停電の実施、更には消費低迷に伴う交通量の減少により、駐車場需要が低下したことを踏まえ、売上回復に向けた様々な施策を実施しておりますが、震災前の水準には至っておりません。

一方、中国国内の活動におきましては、上海市に平成23年1月1日より開始した中国第1号店である「飛州国際ビル」の駐車場管理運営の安定稼働、営業展開に向けた様々な取り組みを行い、今後の中国

市場における駐車場管理運営業務の基本体制の確立を目的とした活動に注力致しました。

また、天津市においては、政府関連の大規模施設である「津門津塔」の駐車場コンサルティングの受注、「創新ビル」の管理運営サービスを5月1日より開始しており、当第1四半期連結会計期間末において、2現場1,042車室が稼働しております。

なお、今後の中国における事業拡大を果たすために、社内体制を充実させる必要があるため、管理部門、営業部門の人員の拡充、営業諸経費の増加により、一時的に費用が増加しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の作成にあたっては、連結子会社3社が平成23年3月31日現在で実施した決算に基づく財務諸表を使用しております。

以上の結果、駐車場管理運営事業全体として、前連結会計年度において獲得した駐車場現場の本格稼働、当第1四半期連結累計期間に受注した稼働車室の増加により、売上高は1,073,640千円、売上総利益については149,422千円となりました。

#### [コンサルティング事業]

コンサルティング売上高におきましては、新規現場獲得のための提案活動に注力してまいりましたが、都市再開発の絶対数が減少していることも影響し、売上高は635千円にとどまりました。

一方、他社との差別化、新たな収益源の確保を目的に、綿密なデータ収集、分析結果を用いた駐車場施設内の給排気ファンの効率的運用により、駐車場施設内の電気代を4割から5割程度削減が可能となる駐車場省エネコンサルティングを新たなビジネスモデルとして確立し、環境面に関する事業展開を開始しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,645,066千円（前連結会計年度末比27,925千円の減少）となりました。主な要因は現金及び預金の減少によるものであります。

負債の残高は980,176千円（前連結会計年度末比15,536千円減）となりました。主な要因は未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は664,890千円（前連結会計年度末比12,388千円の減少）となりました。これは主として四半期純利益の計上1,052千円による増加、配当金14,574千円の支払によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の第2四半期（累計）及び通期の業績予想につきましては、平成23年5月13日公表の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要  
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	467,283	443,981
売掛金	67,585	76,829
仕掛品	62	894
前払費用	112,179	108,613
その他	61,694	53,798
流動資産合計	708,805	684,118
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	278,469	276,375
機械及び装置（純額）	102,385	101,917
リース資産（純額）	125,164	115,639
その他（純額）	173,851	176,092
有形固定資産合計	679,871	670,024
無形固定資産	18,064	25,193
投資その他の資産		
敷金及び保証金	180,875	179,174
保険積立金	72,982	72,982
その他	12,393	13,573
投資その他の資産合計	266,250	265,729
固定資産合計	964,186	960,948
資産合計	1,672,991	1,645,066
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	29,920	29,920
リース債務	35,980	36,316
未払金	119,704	113,872
未払法人税等	29,513	3,314
前受金	140,800	139,211
預り金	225,589	237,432
その他	26,720	48,002
流動負債合計	608,228	608,069
固定負債		
長期借入金	260,940	253,460
リース債務	96,868	87,662
退職給付引当金	16,576	18,171
資産除去債務	7,993	8,212
その他	5,105	4,601
固定負債合計	387,484	372,107

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債合計	995,712	980,176
純資産の部		
株主資本		
資本金	158,703	158,703
資本剰余金	138,123	138,123
利益剰余金	423,772	410,290
自己株式	△66,022	△66,022
株主資本合計	654,576	641,094
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,891	△3,676
その他の包括利益累計額合計	△4,891	△3,676
少数株主持分	17,124	15,538
新株予約権	10,470	11,933
純資産合計	677,279	664,890
負債純資産合計	1,672,991	1,645,066

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,074,276
売上原価	924,225
売上総利益	150,051
販売費及び一般管理費	140,175
営業利益	9,875
営業外収益	
受取利息	30
受取手数料	183
その他	648
営業外収益合計	862
営業外費用	
支払利息	2,474
為替差損	364
営業外費用合計	2,839
経常利益	7,898
税金等調整前四半期純利益	7,898
法人税、住民税及び事業税	977
法人税等調整額	7,911
法人税等合計	8,889
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△990
少数株主損失(△)	△2,043
四半期純利益	1,052

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自平成23年4月1日  
至平成23年6月30日)

少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△990
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	1,672
その他の包括利益合計	1,672
四半期包括利益	681
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	2,267
少数株主に係る四半期包括利益	△1,585

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。